

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第6部門第1区分  
 【発行日】平成23年1月6日(2011.1.6)

【公表番号】特表2010-520989(P2010-520989A)  
 【公表日】平成22年6月17日(2010.6.17)  
 【年通号数】公開・登録公報2010-024  
 【出願番号】特願2009-537355(P2009-537355)  
 【国際特許分類】

G 0 1 N 33/543 (2006.01)  
 C 1 2 Q 1/28 (2006.01)  
 G 0 1 N 21/78 (2006.01)  
 C 1 2 Q 1/42 (2006.01)  
 C 1 2 Q 1/34 (2006.01)

【F I】

G 0 1 N 33/543 5 4 5 A  
 C 1 2 Q 1/28  
 G 0 1 N 21/78 C  
 C 1 2 Q 1/42  
 C 1 2 Q 1/34  
 G 0 1 N 33/543 5 7 5

【手続補正書】

【提出日】平成22年11月9日(2010.11.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

生体試料中の複数の標的をプローブする方法であって：

- (a) 複数の標的を含有する試料を提供する工程；
  - (b) 試料中に存在する1以上の標的へ、酵素へ連結した結合剤を含んでなる少なくとも1つのプローブを結合させる工程；
  - (c) 結合したプローブを、蛍光シグナルジェネレータへ連結した酵素基質と反応させる工程；
  - (d) 工程(c)の蛍光シグナルジェネレータからのシグナルを観測する工程；
  - (e) 蛍光シグナルジェネレータと酵素をともに実質的に不活性化する酸化剤を含んでなる溶液を工程(c)の試料へ適用する工程；
  - (f) 工程(e)の試料中に存在する1以上の標的へ、酵素へ連結した結合剤を含んでなる少なくとも1つのプローブを結合させる工程；
  - (g) 結合したプローブを、蛍光シグナルジェネレータへ連結した酵素基質と反応させる工程；
  - (h) 工程(g)の蛍光シグナルジェネレータからのシグナルを観測する工程；
- を含んでなる、前記方法。

【請求項2】

工程(e)における溶液が塩基性溶液である、請求項1の方法。

【請求項3】

酵素が、ペルオキシダーゼ、アルカリホスファターゼ、-D-ガラクトシダーゼ、及び

グルコースオキシダーゼより選択される、請求項1または2の方法。

【請求項4】

蛍光シグナルジェネレータがシアニン色素を含む、請求項1～3のいずれか1項の方法。

【請求項5】

工程(e)～(h)を1回以上繰り返す、請求項1～4のいずれか1項の方法。

【請求項6】

観測する工程(d)、工程(h)、又は工程(d)及び(h)が、試料中の少なくとも2つの標的を共同在化することを含む、請求項1～5のいずれか1項の方法。

【請求項7】

観測する工程(d)、工程(h)、又は工程(d)及び(h)が、試料中の少なくとも1つの標的の定量的測定を含む、請求項1～6のいずれか1項の方法。

【請求項8】

生体試料中の複数の標的をプローブする方法であって：

(a) 複数の標的を含有する試料を提供する工程；

(b) 試料中に存在する1以上の標的へ、ペルオキシダーゼへ連結した結合剤を含んでなる少なくとも1つのプローブを結合させる工程；

(c) 結合したプローブを、蛍光シグナルジェネレータへ連結したペルオキシダーゼ基質と反応させる工程；

(d) 工程(c)の蛍光シグナルジェネレータからのシグナルを観測する工程；

(e) 蛍光シグナルジェネレータとペルオキシダーゼをとともに実質的に不活性化する酸化剤を含んでなる溶液を工程(c)の試料へ適用する工程；

(f) 工程(e)の試料中に存在する1以上の標的へ、ペルオキシダーゼへ連結した結合剤を含んでなる少なくとも1つのプローブを結合させる工程；

(g) 結合したプローブを、蛍光シグナルジェネレータへ連結したペルオキシダーゼ基質と反応させる工程；

(h) 工程(g)の蛍光シグナルジェネレータからのシグナルを観測する工程；

を含んでなる、前記方法。

【請求項9】

ペルオキシダーゼが、試料中又は試料が結合している固体支持体中に存在するフェノール基へペルオキシダーゼ基質が共有結合することを引き起こす、請求項8の方法。

【請求項10】

生体試料中の複数の標的をプローブするためのキットであって：

酵素へ連結した結合剤を含んでなる複数のプローブ；及び

蛍光シグナルジェネレータへ連結した酵素基質；

を含んでなり、ここで酸化剤は、試料へ適用されるときに、蛍光シグナルジェネレータと酵素をとともに実質的に不活性化する、前記キット。